

3
月号

第350号

いっしん

平成26年(2014年)

いざ祈れ
天地ありての
吾としりなば

甘木親教会
初代親先生みぶ歌

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/



甘木親教会 親先生
靈祭詞奏上



甘木親教会 親奥様
玉串奉奠



報徳祭に引き続いて 矢野政美大人15年祭

仕えられる

立春を迎え、鹿児島の際は全国に先立ち梅の花咲き香る季節となった二月九日(日)、小春日和の中、甘木親教会長 安武道義親先生・親奥様をお迎えし、隣接教会の先生方、親戚、加治木教会はじめ隣接教会の信奉者の皆さん方がご参拝になられ、加治木教会 報徳祭に引き続いて、前教会長 矢野政美大人 十五年祭が仕えられました。

二神前・ご霊前で、安武道義親先生が、故政美親先生が生涯をかけて尽くされたお道の御用と、ご信心の足跡を称え偲びお慰め申し上げる内容の祭詞をご奏上くださいました。

昭和二十六年六月に、先の大戦で加治木の町は空襲に合い多くの家々が焼失したため、小板葺の家が目立つ戦後の傷跡残る中、布教を再開され、まさに荒地布教の辛苦を越えて、四十八年間「神も助かり氏子も立ち行く」お道開きの御用に生涯を尽くされたみ功績(いさお)を、教会家族・信奉者一同で、前々より御用をおかげいただき、称え偲び御礼申し上げるみ祭りをお仕えさせていただきました。

加治木教会 報徳祭・矢野政美大人15年祭…P1～6
お知らせ…P7
教会行事…P8

報徳祭に引き続いて
矢野政美大人十五年祭

甘木親教会 安武道義 親先生ご教話



【ご教話、最初の部分の要旨】

祭詞の中にありましたように、矢野政美先生は、お母さんの矢野クラさんが、三十三才の時に腎臓病で尿毒症になられ命にかかわる九死に一生ということになられ、体が腫れていつ命が終わるかわからない、神様には家からお別れができて親先生には一度お会いしてお別れをしたいと、腫れあがった身体で、何とか教会に参られて初代にお別れに来られた。

初代はそれを聞いて、大変厳しい言葉でご理解をしたということですよ。

この矢野クラさんならばどんな厳しいことを言っても、聞き違い取り違いないと思つて、大変厳しい言葉であつたということですよ。

「あなたは死ぬ覚悟でお別れに来た。信心の穂をさげたな...、しかしその死ぬ覚悟で改めて信心をしなさい」と言われたのですが、矢野クラさんは、その言葉で、信心を入れ替えて信心を改めて行かれて、おかげを頂かれ、その後、子どもさんをおかけ頂かれて、生まれられたのが矢野政美先生。

神様のおかげでこの子をおかけ頂いたので、お道の御用の立たせていただく、という親の願いがあつたと思うのです。

そういうことで教会に修行に上がられまして、この加治木の町に布教にこられたわけです。そして今日この加治木教会があるのです。

「この者には何を言つても聞き違い思い違いない」というのは、初代が矢野クラさんを信用していたのだと思います。

私も、この信者さんにはこういうこ

とを言うとお腹を立てられる、と思つたと言わないで、遠慮することもありまふ。それではその方が損なのです。

しかし、教会でお結界の先生から厳しいことを言われ「先生から怒られたから、お届けせん、参らん」と、そのようなことを聞いたことがあります。

御取次とは、願つてくる人は、こちらの思い通りになるようにおかけ頂きたいと思うのでしようが、先生から「そうじゃない」と言われるから腹が立つのでしよう。



御取次というのは、「こちらは何も無い、無いというのでしょうか、そういうこととで願うことが要るのではないのでしょうか。」

矢野クラさんは、死ぬ覚悟をされて、お別れに來られて、初代から大変厳しい言葉を、素直に頂かれておかげを頂かれたのですが、そのところがなかなか難しいです。



今日は報徳祭で、一子大神様(教祖様の奥様)、四神様(二代金光様)、山神様(二代様のお兄様)、三代金光様、四代金光様にお礼を申し上るお祭り

です。

甘木の初代は教祖様の奥様一子大神様からおかけを頂かせていただきまして、十二月の御大祭は、第二日目に、一子大神様のお祭りを任せさせていただきます。ありがとうございました。

第二日は一子大神様にお礼を申し、一子大神様の祝詞(のりと)を奏上するときには、途中で声が詰まって祝詞が上がらなかつたと聞いております。

「一子大神様に後々まで礼(いや)びに礼(いや)び、布教当初のお礼を申し行くこと」を、私の父から「初代の思いとして、後々までずーっとお礼を申してくれ」とのことを伝えられていきます。

私は初代を知りませんが、時代が進んで代が変わっても、その本である初代の思いを、私は知らないからそれは知らない(お礼を申さない)ではなく、そこを頂いて行くのが「道」と思います。

二代の金光様四神様は、九州にとつては大変深い祈りをおかけ下さいました。

小倉の桂松平先生は四神様から

「小倉の土になれ泥になれ」というお言葉を頂かれて布教に出てあります。

小倉教会があつて甘木教会があるのです。また、甘木教会があつてこの加治木教会があるのです。

ずーつつながつており、全然別物ではないのです。そういうところが大切にさせてもらうということが、おかけを頂いて行く、後々(あとあと)までつながつて行くように思います。

そういうところが、どうもうまくいかななくなつてくると「自分の力で」「自分が」ということになって、どうもうまくいってないような気がします。

教祖様は、繁盛ということについて「細うても長く続くのが繁盛」と仰つておられます。

「このお道もこれから先、続いて行かねばなりません。また、そういうお道だと思えます。」

お道のことを、このお道の信心がわからないと仕方がありません。この天地の親神様のお恵みの中に生かされて生きておる、ということがわかれば、お礼を申すということもわかってくるでしょう。知らないということは仕方ありません。

矢野政美大人15年祭 をお仕えさせて いただきました



矢野政美大人



一月十一日〜二月七日
寒中一斉信行

矢野政美大人十五年祭をお迎えするにあたり、その前一ヶ月間が寒中一斉信行期間でもあり、十五年祭奉迎の信行期間ともなりました。

そのため寒中一斉信行期間、最後の十日間は、故矢野政美親先生が生前の平成八年五月、加治木教会の御大祭でお話しになられたご教話を毎朝約十分ずつ聴かせていただき、故政美親先生を偲びながら信心の勉強をさせていただきました。

そのご教話の内容は、甘木親教会二代安武文雄親先生がご帰幽になられた翌年ということもあり、お話しになられてある内容は、故政美親先生の生涯の信心のあゆみを、遺言のようにお話しになられてあるように感じられました。

また、このご教話と平成七年の上半期感謝祭のご教話をCDにして、十五年祭の偲び草として配布されました。CDが必要な方は教会までお知らせ下さい。

2/8 奥津城にて墓前祭



前日2/8、玉串の垂紙(しで)付けや寒中(奉迎)信行期間で聴かせていただいた偲び草となるCDの準備などが調っていく。

矢野政美大人の十五年祭

前日、御用始めの 御祈念後、

墓前祭 を仕える

御大祭の前日の午前中は、いつも準備の御用奉仕となっておりますが、このたびは式年祭のため、少し早めの九時半にお広前で御用始めの御祈念を仕え、十時から奥津城において墓前祭を仕えさせていただきました。

奥津城では、参拝者一同で霊前拝詞を唱え、順に玉串を奉奠させていただきます、祖先賛詞を奉唱し、霊様に御礼を申し上げさせていただきました。



2/8 奥津城にて



墓前祭では、皆で玉串を奉奠



御用始めの御祈念



ご神前を彩る活け花の御用 (2/8)



お直会のお弁当の仕込みや、御用奉仕者の昼食準備が、和やかに… (2/8)

甘木親教会 親先生・親奥様が午前10時過ぎご到着になられました。ご祭主をお仕え下さり祭典後、ご教話を拝聴させていただきました。何とか、御用奉仕者一同で準備が進められご祭典をお仕えすることができまでに至りました。(10:10AM)



加治木教会報徳祭
矢野政美大人十五年祭
当日の朝を迎えて



御用始めのご祈念(9:30AM)

御用開始・終了の御祈念は御用奉仕者一同が真心を込め、神様・霊様にお喜びいただく御用としてとても大切なことなのです。



ご祭典前のご祈念(9:30AM)

ご祭典前の御祈念は、参拝者一同が心を静め集中させるため大切なことで、これまで加治木教会ではお仕えできていませんでした。



玉串奉奠者の呼び出しと手渡しの打ち合わせ(9:55AM)



霊前での玉串奉奠が始まり青年会となる(12:20AM)

玉串の紙垂(し)では白紙で純白な真心を現わし、榊葉は常緑樹で常に変わることのない真心を現わします。玉串奉奠は真心を現わす捧げる儀式です。



霊前での玉串奉奠若夫人会(12:21AM)

甘木親教会 布教記念祭奉祝



バレーボール大会 5/4(祝)

(9人制、体育館にて)

に参加しましょう！ 参加のお誘いがあります、
みなさんいかがですか？

人吉教会・宮之城教会・多良木教会 合同の
南九州連合チームにて！

バレーボールができない方も、応援部隊で参加してみませんか？

あしあと

加治木教会行事記録

2月

- 1(土) ● 報徳月例祭・節分祭 10時半
- 4(火) 甘木親教会初代立日御祈念10時
" 琴稽古
- 8(土) 御用奉仕
- 9(日) ● 加治木教会 報徳祭 11時
- " 矢野政美大人十五年祭
- 10(月) ● 大神様 月例祭 10時半
- 11(火) 龍笛稽古 20時
- 12(水) 矢野政美大人立日御祈念 10時半
- 15(土) 若婦人会 13時半
- 16(日) 上荒田教会 報徳祭
- 17(月) 甘木親教会報徳祭 11時
- 18(火) 甘木親教会「同釜会」
- 21(金) 斎掃 御用 10時半
- 22(土) ● 月例祭・共励会 13時半
- 23(日) 多良木教会 報徳祭
- 24(月) 龍笛稽古 10時
- 28(金) 斎掃 御用 10時半

加治木教会 バンド練習会

〈毎週金曜 午後7時半より〉
間もなく再開します。

今年十月二十六日(日)の、甘木親教会
布教百十年記念大祭バンド演奏に参加
させて頂いたとき、今日信心のおかけを蒙
らせていただいている御礼を申させてい
ただきますよう。

ご霊神様のおまじ

三月 (敬称等略)

- 川畑ツネ 之霊神(1日)昭和44年
- 中野サ子 之霊神(1日)平成13年
- 永原スミ子 之霊神(1日)平成20年
- 内村源二 之霊神(3日)平成5年
- 信國幾雄 之霊神(6日)昭和42年
- 大山定二 之霊神(7日)昭和61年
- 荒木美至 之霊神(7日)平成7年
- 本中野重則 之霊神(12日)平成年
- 矢野クラ 之霊神(13日)昭和31年
- 松田モト 之霊神(15日)昭和62年
- 信國徹志 之霊神(18日)昭和52年
- 松田セイ 之霊神(20日)昭和18年
- 前田広実 之霊神(21日)昭和36年
- 吉屋茂樹 之霊神(25日)平成4年
- 津上陸奥 之霊神(29日)昭和53年
- 本中野金四郎 之霊神(30日)昭和4年
- 柳園ヨシ 之霊神 平成25年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)での
お働きあつての今日の私たちであります。
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんして
お礼を申し上げます。
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の
奉てんを準備しています。

三月八日(土)・九日(日)

午後二時より 午前十時より
※九日は主に初心者 申込締切
三月一日
典楽会 鹿兒島教会にて
会費・昼食費など 一〇〇〇円
琴・龍笛・笙・箏・太鼓

三月二十一日(祝)

春季霊祭 奉仕

※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月二十八日(金)～三十日(日)

甘木親教会
少年
少女会

交歓会

対象：新中一～新高卒

三月二十九日(土)～三十日(日)

天地金乃神様

御本部御大祭 参拝

出 発：二十九日 午前八時

帰 着：三十日 午後八時頃

交通機関：レンタカー

宿泊先：() 霊地「光風館」

四月一日(火)

月例祭に併せて

勸学祭 奉仕

健康な成長と学業成就の御礼と
お願いを申し上げましょ。

教会行事

3月

- 1(土) ●報徳月例祭 10時半
- 8(土)～9(日) 典楽講習会 (於・鹿兒島教会)
- 9(日) 斎掃御用 10時
- 10(月) ●月例祭 10時半
- 13(木) 婦人会 10時
- ” 矢野クワ刀自立日
- 15(土) 若 婦 人 会 13時半
- 16(日) 宮之城教会五十日祭
- 20(木) 斎掃御用 10時
- 21(祝) ●春季霊祭 10時半
- 22(土) ●月例祭・共励会 13時半
- 23(日) 朝参拝日 6時
- ” 福山家霊祭
- 26(水)～28(金) 甘木親教会「教会子弟の集い」
- 28(金)～30(日) 甘木親教会 少年少女会「交歓会」
- 29(土)～30(日) 御本部御大祭 参拝
- 30(日) 斎掃御用 10時

4月

- 1(火) ●月例祭(報徳) 10時半
- ”併せて◆勸学祭(少年少女会)
- 9(水) 斎掃御用 10時
- 10(木) ●月例祭 (生神金光 大神様) 10時半
- 11(金)～12(土) 連合会執行部会 10時半 志布志教会
- 12(土)～13(日) ◆甘木親教会 青年の集い
- 13(日) 人吉教会御大祭
- 20(日) 大口教会御大祭
- ” 斎掃御用 10時
- 22(火) ●月例祭・共励会 13時半
- 25(金) 甘木親教会 御大祭 第①日
- 26(土) 甘木親教会 御大祭 第②日
- 30(水) 斎掃御用
-
- 5月
-
- 4(日) 甘木親教会バレーボール大会参加
- 11(日) 加治木教会御大祭